

夢と希望に満ちて4833人



夢と希望に満ちて4833人 — 平成17年度入学式

桜が開き始めた4月5日、05年度入学式が東京千代田区の日本武道館で行われ、6学部の新入生4635人と大学院の新入生198人(5研究科と法科大学院)の計4833人が期待に胸膨らませ、新生活へのスタートを切った。式後は、初のご父母を対象にしたガイダンスが行われた。

日高義博学長は式辞の中で「自己の殻を破り大きく発展させるのが専修大学の教育だ。歴史と伝統をもった本学で学ぶことに誇りと自信を持ち、高い志で真摯に勉学されんことを期待する」と呼びかけた。出牛正芳理事長の祝辞のあと新入生を代表して須藤智子さん(文学部心理学科、東京都専大附属高)が決意を述べた。引き続いての歓迎プログラムでは高橋祐吉副学長の講演などが行われ、専修大学フィルハーモニー管弦楽団の力強い演奏とグリークラブの男声合唱が披露され、新入生の門出を祝福した。

初のご父母向けガイダンス 延べ1509人が来場

入学式後に行われた今年から初開催の「ご父母のための専修大学ガイダンス」は、多彩な内容で展開された。

学部の概要説明をはじめ司法、会計士、公務員の各資格試験対策講座、国際交流・留学制度、学生生活・奨学生制度、就職対策の各ガイダンスがそれぞれ行われたほか大学院研究科、法科大学院、育友会については、個別



相談会が設けられた。
会場である神田キャンパスの教室に会場したご父母は、延べ1509人にのぼり、熱心に質問する姿も見られた。

大規模災害発生時に協力 千代田区と基本協定を締結

専修大学では、3月29日、千代田区(石川雅己区長)と「大規模災害時における協力体制に関する基本協定」を締結した。

この協定は地震等大規模災害時における安全確保や生活復興などの応急対策を迅速に推進するために専修大学と千代田区との協力体制を確保するためのもの。

災害が発生した際、大学は被災者の安全確保のため、大学施設を一時的避難場所として提供。可能な範囲で、応急医療資材や備蓄物資の提供を担う。

また今後、災害救援のための学生ボランティアを募集・育成することになるが、千代田区は必要経費等の支援を行う。(本協定は明治大学、東京電機大学、法政大学も締結)



キャンパス探訪<25> 今村力三郎先生胸像

今村は専修学校在学中の1888年(明21)代言人(弁護士)試験に合格、明治・大正・昭和の3代にわたり法曹界で活躍したことで知られる。1946年(昭21)から54年の没年まで、第5代総長を務めた。

草創期の本学は英法中心の法学教育をし、東京の五大法律学校の一つとしても良く知られた。大学組織になり法学科を設け、大学令で専修大学となって後の27年(昭2)に法学部が設置された。当時今村は監事を経て、本学理事を務めていた。それから80年近くたち昨年、法科大学院がスタートした。黄泉下の彼の感慨やいかに。

胸像は法科大学院(神田8号館)2階「今村力三郎記念ホール」に。42年(昭17)に大学が功績を称え、彫刻家・横江嘉純に依頼制作した。図書館神田分館にも、同作家の小振りの立像がある。



今キャンパスライフに役立つ情報や体育会の活躍・試合予定などを満載して毎月15日に発行しています。生田キャンパスでは120年記念館(9号館)をはじめ、学生生活課前、学生食堂などに。神田キャンパスでは1号館地下1階のラックからご自由にお持ちください。

育友会員の皆様には、育友会から送付いたします。



【ニュース専修2005年4月号1面】